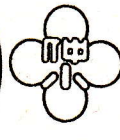


平成 27 年度
NO. 13
2 月 29 日 発行
3 月号

仲町だより



なか よく
ま なぼう
ち からいっばい
練馬区立仲町小学校

子供たちのために

校長 矢島 直行

2月13日(土)、本年度最後の学校公開には、多くの皆様にご参観いただきありがとうございました。どの授業においても子供たちが落ち着いて取り組んだり、自分の意見を発言したりする姿が見られました。6年生のマーチングバンドは、今までの練習の成果が発揮され素晴らしかったです。

6月から2月までの第2土曜日を中心にした学校公開は、国語や算数をはじめ、総合的な学習の時間、図工や音楽の専科など、子供たちが活躍する場面を皆さんにご覧いただけるように計画的に時間割を組んでいます。授業の様子から子供たちの1年間の成長を見ることができたのではないのでしょうか。特に6年生は小学校最後の学校公開でした。大きく成長したことが分かりました。

この1年間を振り返りますと、いろいろな地域行事がありました。夏休みの盆踊りをはじめ、秋のお祭り、餅つき大会など、どの行事にも子供たちは楽しく参加しました。また、練馬区青少年育成第二地区委員会主催の行事も行われました。

子供たちが健やかに成長することができたのは、子供たち自身の頑張りもありますが、忘れてはいけないのは、いろいろな方々の支えがあったことです。朝早くから準備をしてくださるなど、町会の皆様、第二地区委員会、PTAの皆様のご協力は大きいものがあります。「子供たちのために」という思いに感謝を申し上げます。

今、卒業を迎える6年生と会食をしています。「仲町小学校を自慢するとしたら何ですか？」と質問をすると、「子供たちの人数が多い」「マーチングバンドがある」という答えが多く返ってきました。大勢の友達と出会うことができ、本校の特色であるマーチングバンドを引き継ぐことができる、これはまさに本校のよさであるといえます。

また、「小学校生活での思い出は何ですか？」と質問をしますと、「移動教室」という答えが多く返ってきます。6年生の武石移動教室と5年生の下田移動教室での生活は、子供たちにとって今でも忘れることができない思い出となっているのでしょうか。友達関係を築き、充実した学校生活を送ることができたことが分かります。移動教室においても、保護者の皆様をはじめ、宿舎であるベルデの職員の方と教職員の「子供たちのために」素晴らしい移動教室にしたいという思いがあります。

このように子供たちは、いろいろな方々に支えられています。このことを忘れずに1年間の振り返りと新年度に向けての準備に取り組むことができるようにしたいです。特に卒業する6年生には、残りわずかになった小学校生活の1日1日を充実させ、友達との絆を強くして中学校に進学してもらいたいです。